

岡田嘉子 （1907-1991） 俳優。明治二十五年四月二十一日廣島縣生れ、平成四年二月十日没（一九〇一五）。大正七年東京女子美術學校選科卒。舞臺協會に入り、十二年白話の「踊子の舞」で映畫初出演、花形となる。

昭和二年夫山田隆瀬（のち隆也）と結婚、俳優竹内良一と失踪事件を起す。白話退き、一座を結成して全國及び外地へ演を果した。六年松竹蒲田に入り映畫界へ復帰。十一年井上正夫演劇道場へ参加。翌年愛人の演出家杉本良吉とソ聯に亡命。杉本は處刑せられると、自身は市民権を得てモスクワのルナチャルスキー演劇大學へ演出を學ぶ。次でマヤコフスキー劇場の演出部長となり、またモスクワ放送局日本部に勤める。この間元俳優でモスクワ放送ヤナウンサー瀧口新太郎と結婚。四十七年歸國して約半生滞日。その後を滞りの儘、演出家として自ソを注復。松井須磨子、衣川孔雀と共に「大正の三大女優」（田中榮三）と曰ふ。

譯著書、エリマル・グリーン作『南からの風』（岡田よこ子名、訳、昭和二十七年九月二十日世界文化社）、
和二十七年九月二十日世界文化社）、
スタニユコビ子他作『海の物語』（同、
訳、昭和四十一年一月二十日モスクワ
・プロGRESS出版所、自ソ圖書センタ
ー発売）、『悔いなき命さ』（昭和四
十八年四月二十日廣済堂出版）、『心



に残る人びと』（昭和五十八年七月二十一日早川
書房）等。

文獻、岡田嘉子著『岡田嘉子・越境事件の真相』



